

2023年度
日本語
(問題)

<R05172181>

注意事項

- 一試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 二問題は2〜7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 三解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 四受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に正しいに記入すること（左の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
- 五受験番号の記入にあたっては、左の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に正しいに記入すること。読みづらい数字は、採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例)
57001番



万	千	百	十	一
5	7	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 六試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
- 七いかなる場合でも解答用紙は必ず提出すること。
- 八試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

一次の文章は、いまから三十年ほど前に一人のジャーナリストが記した『差別表現』に関する提言である。これを読んだ後の問いに答えなさい。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

矢崎泰久「内なる差別との訣別」(一九九五)による

注 啞然

あきれて言葉もでない様子。

日本ペンクラブ

平和への希求、言論・表現などの自由を守るための文筆家(作家・ジャーナリストなど)の団体。

国際ペンクラブの日本センター！

迂闊にも

不注意にも。

オチヨクリ

馬鹿にすること。

言葉狩り

ある語を、社会的にふさわしくないものとして使用を禁じること。

問一

空欄

A

く

E

それぞれに入るもつとも適切な語を、次のア～オの中から一つずつ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上使わないこと。)

ア いやしくも

イ たちまち

ウ とりあえず

エ なるべく

オ ようやく

問二

傍線部

(1)(2)(4)(6)(10)それぞれの意味の説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つずつ

つ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上使わないこと。)

ア 疑いを晴らすために言いわけをすること。

イ 混乱を避けるために、適正な範囲を守らせること。

ウ 無くならないよう手をつけずに残しておくこと。

エ 罪や責任を問いただして非難すること。

オ ある傾向や能力などが強くなるよう伸ばすこと。

問三 傍線部(3)(5)(7)(8)(9)それぞれの語と、文脈上置き換えることのできる語を、次のア～オの中から一つずつ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上使わないこと。)

ア 悪因 イ 反対 ウ 観点 エ 反目 オ 決心

問四 二重傍線部(Ⅰ)「それ」の指すものはなにか。最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア 差別のない社会の実現

イ 牧師の行う説教の否定

ウ 内面に残る差別の自覚

エ 結婚した男女間の平等

オ 信徒による差別の許容

問五 二重傍線部(Ⅱ)「使つてはならない言葉」とは何のことか。問題文中から漢字四字の熟語を抜き出して解答欄に書きなさい。

問六 二重傍線部(Ⅲ)「言葉の言い換えなどでは解決しない」とはどういうことを言っているのか。その説明として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

ア 言葉の言い換えは、表現者の内面にある差別意識をただ誤魔化しているだけである。

イ 差別用語は、必要があつて使用したのであれば、言葉の言い換えによつて許される。

ウ 言葉の言い換えは「言葉狩り」に過ぎないが、それだけで社会の改善には貢献する。

エ 差別に繋がる表現は絶対にならないという誠意が言葉の言い換えにはよく現れている。

オ 言葉の言い換えにより差別意識を持つている文筆家たちに大いに反省を求められる。

問七 空欄

X

 ・

Y

 それぞれに入る最も適切な語を、次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

X ア 頭 イ 目 ウ 鼻 エ 口 オ 手

Y ア 歩く イ 走る ウ 踊る エ 引く オ 止む

問八 傍線部①②③④⑥(それぞれ基本形に変換して表示)の片仮名を漢字に直して解答欄に書きなさい。

① ウヤマウ ② ツカえる ③ タズサわる ④ コロがる ⑥ ツトめる

問九 傍線部⑤⑦⑧⑨⑩(それぞれ基本形に変換して表示)の漢字の読みを平仮名で解答欄に書きなさい。

⑤ 洗う ⑦ 拭う ⑧ 払う ⑨ 傷つく ⑩ 困る

問十 次のア～オの中で本文の内容と一致するものを一つ選んで解答欄に記号で書きなさい。

ア 筆者は結婚式に出席して牧師の祝詞を聞き、そこに引用された聖書の言葉に感銘を受けた。

イ 国連の「男女差別撤廃条約」を、日本国は一九八六年になつてもまだ批准していなかった。

ウ 差別用語とは、差別意識を持つ人が、それに気付かないまま不用意にも使つたものである。

エ 差別問題の解決のためには、それぞれ内面にある差別意識を徹底的に洗い出す必要がある。

オ 古典落語を放送禁止にすることは、現代の一般的尺度からみても明らかに行き過ぎである。

二 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

店で商品を購入するとき、金銭との交換が行われる。でも、バレンタインデーにチョコレートを贈るときには、その対価が支払われることはない。好きな人に思い切つて、「これ受けとってください」とチョコレートを渡したとき、「え？いくらだったの？」と財布からお金を **I** たりしたら、たいへんな屈辱になる。

贈り物をもらう側も、その場では対価を払わずに受けとることが求められる。このチョコレートを「渡す／受けとる」という行為は贈与であつて、売買のような商品交換ではない。だから「経済」とは考えられない。【A】

では、ホワイトデーにクッキーのお返しがあるとき、それは「交換」になるのだろうか。この行為も、ふつうは贈与への「返礼」として、商品交換から区別される。たとえばほとんど等価のものがやりとりされていても、それは売買とは違う。そう考えられている。【B】

商品交換と贈与を区別しているものはなにか？ 【C】

たとえば、チョコレートをもらつて、すぐに相手にクッキーを返したとしたら、これは等価なものを取引する経済的な「交換」となる。ところが、そのチョコレートの代金に相当するクッキーを一カ月後に渡したとしても、それは商品交換ではない。返礼という「贈与」の一部とみなされる。このとき、やりとりされるモノの「等価性」は①伏せられ、「交換」らしさが消える。【D】

商品交換と贈与を分けているものは時間だけではない。お店でチョコレートを購入したあと、そのチョコレートに②値札がついていたら、かならずその値札をはずさだろう。さらに、チョコレートの箱にリボンをつけたり、**II** らしい包装をしたりして、「贈り物らしさ」を演出するにちがいない。【E】

店の棚にある値札のついたチョコレートは、それが客への「贈り物」でも、店内の「装飾品」でもなく、お金を払つて購入すべき「商品」だと、誰も疑わない。でもだからこそ、その商品を購入して、贈り物として人に渡すときには、その「商品らしさ」をきれいにそぎ落として、「贈り物」に仕立てあげなければならない。

なぜ、そんなことが必要になるのか？

ひとつには、ぼくらが「商品／経済」と「贈り物／非経済」をきちんと区別すべきだという「きまり」にとっても忠実だからだ。この区別をとおして、世界のリアリティの一端がかたちづくられていると **III** いえる。

そして、それはチョコレートを購入することと、プレゼントとして贈ることが、なんらかの外的な表示（時間差、値札、リボン、包装）でしか区別できないことを示している。

たとえば、バレンタインの日にコンビニの袋に入った板チョコをレシートとともに渡されたとしたら、それがなにを意図しているのか、③戸惑つてしまうだろう。でも同じチョコレートがきれいに包装されてリボンがつけられ、メッセージカードなんか添えられていたら、たとえ中身が同じ商品でも、まったく意味が変わってしまう。 **IV** 表面的な「印

の違いが、歴然とした差異を生む。

ぼくらは同じチョコレートが人と人とのあいだでやりとりされることが、どこかで区別しがたい行為だと感じている。だから、わざわざ「商品らしさ」や「贈り物らしさ」を演出しているのだ。

ぼくらは人とのモノのやりとりを、**V** つど経済的な行為にしたり、経済とは関係のない行為にしたりしている。「経済化」商品らしくすること」は、「脱経済化」贈り物にすること」の対比のなかで実現する。こうやって日々、みんなと一緒に「経済／非経済」を区別するという「きまり」を維持しているのだ。

でも、いったいなぜそんな「きまり」が必要なのだろうか？

ぼくらはいろんなモノを人とやりとりしている。言葉や表情なども含めると、つねになにかを与え、受けとりながら生きていく。そうしたモノのやりとりには、「商品交換」と「贈与」とを区別する「きまり」があると書いた。

ひとつ注意すべきなのは、そのモノのやりとりにお金がか介在すれば、つねに「商品交換」になるわけではない、ということだ。

結婚式のご祝儀や葬儀の香典、お年玉などを想像すれば、わかるだろう。お金でも、特別な演出（祝儀袋／新札／袱紗／署名）を施すこと **VI** 贈り物に仕立てあげられる。ふつうは結婚式の受付で、財布からお金を出して渡す人なんてない。

なぜ、わざわざそんな「きまり」を守っているのか？じつは、この「きまり」をとおして、ぼくらは二種類のモノのやりとりの一方には「なにか」を付け加え、他方からは「なにか」を差し引いている。

それは、「思い」あるいは「感情」と言ってもいいかもしれない。

贈り物である結婚のお祝いは、お金を「祝儀袋」に入れてはじめて、「祝福」という思いを込めることができる。と、みんな信じている。

経済的な「交換」の場では、そうした思いや感情はないものとして差し引かれる。マクドナルドの店員の「スマイル」は、けっしてあなたへの好意ではない。そう、みんなわかっている。

経済と非経済との区別は、こうした思いや感情をモノのやりとりで付加したり、④ジヨキョしたりするための装置なのだ。

レジでお金を払って商品を受けとる行為には、なんの思いも込められていない。みんなですら考えることで、それとは異なる演出がなされた結婚式でのお金のやりとりが、特定の思いや感情を表現する行為となる。

それは、光を感じるために闇が必要のように、どちらが欠けてもいけない。経済の「交換」という脱感情化された領域があつてはじめて、「贈与」に込められた感情を⑤キワダたせることができる。だからバレンタインのチョコで思いを伝えるためには、「商品」とは異なる「贈り物」にすることが不可欠なのだ。

この区別は、人と人との関係を意味づける役割をⅦいる。

たとえば、「家族」という領域は、まさに「非経済／贈与」の関係として維持されている。家族のあいだのモノのやりとりは、店員と客との経済的な「交換」とはまったく異なる。Ⅷもがそう信じている。

レジでお金を払ったあと、店員から商品を受けとって、泣いて喜ぶ人などいない。でも日ごろの感謝の気持ちを込めて、夫や子どもからⅨプレゼントを渡された女性が感激の涙を流すことは、なにもおかしくない。

このとき女性の家事や育児を経済的な「労働」とみなすことも、贈られたプレゼントをその労働への「対価」とみなすことも避けられる。そうみなすと、レジでのモノのやりとりと変わらなくなってしまう。

母親が子どもに料理をつくったり、子どもが母の日に花を贈ったりする行為は、子どもへの愛情や親への感謝といった思いにあふれた⑥イトナみとされる。母親の料理に子どもがお金を払うことなど、ふつうはありえない。そんな家庭は、それだけで「愛がない」と非難されてしまう。

子育てとは無償の愛情であり、家族からのプレゼントも日ごろの労働への報酬ではなく、心からの愛情や感謝の印である。それは店でモノを買うような行為とはまったく違う。ぼくらはそのようにしか考えることができない。Ⅹそのモノが数時間前まで商品棚に並んでいたとしても。

家族のあいだのモノのやりとりが徹底的に「脱経済化」されることで、愛情によって結ばれた関係が強調され、それが

「家族」という現実をつくりだしている（なぜ「母親」が脱経済化された領域におかれるのかも、ひとつの問いだ）。

家族という間柄であれば、誰もが最初から愛にあふれているわけではない。それは脱感情化された「経済Ⅱ交換」との対比において（なんとか）実現している。

「家族」にせよ、「恋人」にせよ、「友人」にせよ、人と人との関係の距離や質は、モノのやりとりをめぐる経済と非経済という区別をひとつの手がかりとして、みんなできりだしているのだ。

松村圭一郎『うしろめたさの人類学』による

注 ①祝儀・香典 ここでは、祝い事や葬儀の際に祝意や弔意を表すために渡す金銭のこと。

袱紗 ものを包んだりするために使う、儀礼用の布。

問十一 傍線部①②③の漢字の読み方を平仮名で解答欄に書きなさい。

問十二 傍線部④⑤⑥の片仮名を漢字で解答欄に書きなさい。

問十三 空欄 **I** ～ **X** に入る表現として、最も適切なものを、それぞれ次の **A** ～ **E** の中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

I	A	とり出し	イ	とり出され	ウ	とり出させ	エ	とり出させられ
II	A	あれ	イ	これ	ウ	それ	エ	どれ
III	A	さえ	イ	くらい	ウ	のみ	エ	しか
IV	A	ちよつと	イ	たったの	ウ	ものの	エ	ほんの
V	A	あの	イ	この	ウ	その	エ	どの
VI	A	で	イ	が	ウ	から	エ	を
VII	A	過ぎて	イ	満たして	ウ	終えて	エ	果たして
VIII	A	彼	イ	何	ウ	人々	エ	誰
IX	A	偶然に	イ	意外に	ウ	不意に	エ	唐突に
X	A	もしも	イ	たとえ	ウ	万が一	エ	現に

問十四 次の文は、本文中 **【A】** ～ **【E】** のいずれかの箇所に入る。最も適切な箇所を一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

フランスの社会学者ピエール・ブルデュは、その区別をつくりだしているのは、モノのやりとりのあいだに差はさまれた「時間」だと指摘した。

問十五 傍線 **⊗** 「商品らしさ」の具体例として適切ではないものを次の **A** ～ **E** の中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

A	値札がついている	イ	リボンがついている
ウ	コンビニの袋に入っている	エ	レシートが添えられている

問十六 次の **A** ～ **E** の記述について、本文の内容に合うものには **○** を、合わないものには **×** をそれぞれ解答欄に書きなさい。

A	バレンタインデーにチョコレートを贈る場合、ホワイトデーにお返しがあれば、等価なものを取引する「交換」となる。
イ	モノを商品として購入すること、プレゼントとして贈ることとは、そのモノに施された外的な表示でしか区別できない。
ウ	「贈与」には人の思いや感情がこめられているが、それは経済の「交換」という領域があるからこそ表現できるものである。
エ	家事や育児をする家族に対しては、特別な演出をしたプレゼントを贈っても、それが労働への対価とみなされるためふさわしくない。

問十七 誰かに贈り物をする時、それにこめた気持ちを示すには、そのモノをきれいに包装して贈ることが重要だろうか、それとも、何を贈るかというモノ自体が重要だろうか。どちらがより重要だと思うか、その理由を含めて、二文以上で自分の考えを述べなさい。最初の文は「贈り物をする時は」から始め、最後の文は「からである。」で終わること。字数は句読点を含めて五十字以上百字以下とする。

〔以下余白〕

問十二

④

⑤

たせる

⑥

み

問十一

①

せ

②

③

って

問十

問九

⑨

つく

⑩

る

問九

⑤

う

⑦

う

⑧

う

問八

④

がる

⑥

める

問八

①

う

②

える

③

わる

問七

X

Y

問六

問五

問四

問三

(3)

(5)

(7)

(8)

(9)

問二

(1)

(2)

(4)

(6)

(10)

問一

A

B

C

D

E

<R05172181>

受験番号	万	千	百	十	一
姓					
氏名					

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2023年度

日本語

(解 答 用 紙)

No. 1 / 2

採点欄

--	--

(この線で二つ折りにして書きなさい)

問十七

贈り物をする時は

100

50

問十六

ア

イ

ウ

エ

問十五

問十四

問十三

VI

VII

VIII

IX

X

問十三

I

II

III

IV

V

2023年度

日本語

(解 答 用 紙)

No. 2 / 2

採点欄

--	--